



J A 高知県のスタートを祝う

1月1日に発足したJ A 高知県は、1月12日、ザ クラウン パレス 新阪急高知で、高知県農業協同組合設立記念祝賀会を開催。国会議員や行政関係者、J A グループ役員ら約240人が出席し、新J A の船出を祝いました。

武政盛博組合長は「9年あまりの歳月をかけ、ようやく統合を迎えることができた。これからは組合員、地域住民とともに大地に根をおろし、J A をつくっていくたい」と決意を述べました。来賓の山本有二衆議院議員は「日本の農業を取り巻く環境が厳しくなる中、これからもJ A と一緒になって戦っていききたい。今こそJ A 高知県を躍進させ、天下に「園芸王国」として然らしめるときだ」と期待を寄せました。

祝賀会では、J A グループ高知と県内の経済団体、県などで行く「土佐茶プロジェクト」による土佐茶P R ブースなどが設けられました。



理事会だより

臨時理事会 平成31年1月3日

- 第1号議案 代表理事及び役付理事の選任並びに常勤理事の担当業務の決定
- 第2号議案 信用(共済)事業専任担当理事の決定
- 第3号議案 特定理事の決定
- 第4号議案 組合長等に事故あるときの代理・代行順序の決定
- 第5号議案 理事の職員兼務の決定
- 第6号議案 理事等の子会社役員との兼務
- 第7号議案 理事専門委員会の委員構成(分担)
- 第8号議案 各理事の報酬額及び支払方法
- 第9号議案 総代選挙関係手続並びに選挙管理者・投票管理者・開票管理者及び選挙立会人・投票立会人・開票立会人の選考・指名
- 第10号議案 平成30年度(平成31年1月～3月)の内部監査計画
- 第11号議案 職員就業規則の一部変更
- 第12号議案 職員給与規程及び職員給与規程内規の一部変更
- 第13号議案 職員退職給与規程の一部変更
- 第14号議案 共済規程の一部変更
- 第15号議案 高知県農業協同組合農産物検査業務規程の制定
- 第16号議案 販売手数料(受託販売)の変更・設定
- 第17号議案 全国農業協同組合連合会との農機協同事業契約の締結
- 第18号議案 全農機能移管に係る事業の移管に関する契約の締結
- 第19号議案 株式譲渡契約
- 第20号議案 出資金にかかる権利譲渡契約
- 第21号議案 とさし管内における集出荷場再編に向けた土地の先行取得

● 審議の結果、すべての議案が承認されました。

高西
地区

から こんにちは 今月の 気になる人

四万十支所管内より



地域の期待の星

たけうち ゆうや
武内 裕也さん (18)

水稲と水耕セリを栽培するお祖父さんと一緒に、小学校の頃からトラクターやコンバインに乗って作業を手伝ってきました。高校3年生の今では地域のオペレーター等の重要な役割を担っています。卒業後は水耕セリを手伝いながら、水稲を中心に農業に携わっていくとのこと。今後は水稲面積を15ヘクタールまで増やし、地域の水田を守りたいという大きな目標があります。

そんな裕也さんの趣味は「釣り」！ 尾長グレ60cmオーバーを釣ることが夢です。

東津野支所管内より



自慢のサバ寿司はいかが？

みょうしん こうすけ
明神 宏輔さん (35)

祖父が経営していた地元スーパーを受け継いで4年目。若社長としての試行錯誤の日々が続きます。

趣味は、「スポーツ観戦」と「3人の子供と一緒に遊ぶこと」です。

「自慢のサバ寿司をぜひ！」と、笑顔で今日も店頭に立ちます。

興津支所管内より

ハウスの整備もお手の物

おかべ ふみのり
岡部 史記さん (67)

興津地区の運営委員長、岡部史記さんは水稲、ミョウガの栽培に携わって15年のベテラン農家です。

毎日農業に取り組む傍ら、ビニールハウスの電気工事を請け負うこともあります。ミョウガやピーマン農家が多く、たくさんのハウスが立ち並び興津地区で、大切なインフラを支える頼れる存在です。購買へ農業を買いに来られたところを取材に応じていただきました。



梶原支所管内より

毎日が挑戦

みやもと ともかず
宮本 友和さん (40)

鍼灸マッサージ院を経営しつつ、梶原町身体障害者連盟の会長を務めるなど、大忙しの日々。

今年の目標は「来年度には健康保険の取り扱いができるようにしたい」と、その準備のための勉強も開始したそうです。宮本さんの挑戦は、まだまだ続きます。



大野見支所管内より

家族皆で農業してます

にしむら たくや
西村 拓也さん (30)

地元出身の西村さんは家族で生姜2.7ヘクタール、水稲1ヘクタールを耕作しています。西村さんは主に生姜を担当し、奥さんと二人で洗浄やパック詰めをして出荷。「病気を出さない生姜作り」を心がけて取り組まれているそうです。

大野見支所の購買もよく利用して頂いており、今回は店舗に来られたところで取材を申し込むと、素敵な笑顔で応えて頂きました。



5 四万十地域

女性部の生け花教室



形や長さを整えてバランスをとります

四万十支所の女性部は、年末に各支部が教室を開き、お正月に飾る生け花を作ることが恒例となっています。

東又支部では支部長の武市由美さんや鬼頭美鈴さんの指導のもと、梅の花や菊、センリヨウや葉牡丹を使った華やかな生け花に挑戦しました。

堅い松の枝などの調整に苦労しながらも、1時間ほどでそれぞれの生け花が完成。参加した部員からは「いいお正月を迎えられそう」との声が聞かれました。

3 四万十地域

大盛況の対面販売



飛ぶように売れたハクサイやダイコン

12月18日、四万十支所の直売所「みどり市」で第1回生産者大特売会が開かれました。

みどり市に出品している農家からの要望を受け、初めて開催。4名の生産者がダイコンとハクサイの販売を行いました。来店者からは「こんなに立派な野菜が特売で驚いた」と好評で、生産者と美味しい漬物の作り方を話す買い物客や、なかにはコンテナごと購入していく方もいるなど、特売会は賑わいを見せていました。

6 津野山地域

地域でユズの収穫を祝う



収穫作業をする宮崎さん親子

11月18日、梶原町川口地区でユズの収穫が行われ、生産者ら約30人が大玉のユズ約1tを収穫しました。

同地区は平成20年から国の中山間直接支払制度を活用し、地主が不在となった休耕地でユズを栽培しています。

平成28年に神奈川県から移住した宮崎史郎さんは、長男の優月くん(10)、次男の唯月くん(9)と一緒に収穫を行い、「地域の人と交流でき、子供にも良い経験になっていきます」と話していました。

4 津野山地域

収穫したサツマイモでお菓子作り



サツマイモを調理する児童

11月29日、梶原支所と女性部は食農教育の一環として、梶原町立梶原小中学校の梶原学園でお菓子作り教室を開きました。

使用したサツマイモは5月に定植して11月に収穫したもの。子供たちは皮剥ぎからすべて役割分担し、楽しく作業を行いました。高田多鶴子先生は「自分たちで育てたサツマイモを食べるだけでなく、包丁やガスを使って料理を体験する機会が出来てうれしい」と話していました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



地域の方と料理を楽しみました

1 四万十地域

管内の小学校でお米体験学習

四万十支所では、旧JA四万十管内の小学校を対象に、お米づくりを通じた農業体験学習を行っています。平成30年には、7校が田植えや稲刈りなどに挑戦しました。

町立窪川小学校では、指導に当たった農家やJA職員、日頃お世話になっている地域の方を招いた収穫祭を開催。収穫した新米を使った稲荷ずしや豚汁、ホウレンソウの和え物など、児童が考えた料理が振舞われました。招かれた農家は「おいしい」「作るの大変だったね」と話しながら、児童たちが育てた農産物を楽しく味わい、交流を深めていました。

会場では保護者の方が田植えから稲刈りまでを撮影したスライドが上映され、児童は「田植えは泥が大変だった」「虫がおったね」と作物を作る大変さや楽しさを振り返っていました。

四万十支所ではこうした農業体験やコンテナ生姜の栽培指導など、地域の農業を伝える活動を今後も行っていきます。



職員会より感謝状を贈られる中平組合長

2 津野山地域

24年の歩みに感謝
JA津野山からJA高知県へ

旧JA津野山は平成6年にJA梶原町とJA東津野が合併し誕生しました。12月8日、JA高知県への統合に伴い、「24年の歩みに感謝する集い」を開き、池地文男常務理事と大崎洋吉常務理事が24年の歩みを紹介しました。

職員からは氏原和幸常務指導部長が「仲間があつてこそ今日を迎えることができた。皆に感謝したい」と話し、共済部の前田和さんは「今まで共済部で研鑽したことを合併後も組合員に還元できるよう頑張りたい」と話しました。

中平紀善組合長は「JA津野山の誕生当初は、取り巻く環境が激変し、組合員に迷惑をお掛けしたこともあったが、なんとか持ち返すことができた。新しいJAの船出となった今、今後に期待したい」と話し、職員会からは組合長へ感謝状の贈呈が行われました。

東津野支所、梶原支所、津野山営農経済センターは、組合員に必要とされ、信頼される農協として地域に密着した活動を今後も継続していきます。

四万十地域より

春ジャガの栽培に挑戦しませんか



春ジャガイモは、寒さの残る2月中旬～3月上旬にタネイモを植え付けると、梅雨入り前後の5月下旬～6月上旬に収穫することができます。

① 種イモの準備

春作に適した品種「男爵」「農林一号」「メークイン」「アンデス」等を選び、地域に適した時期に植え付けましょう。
小さい種イモ（50g程度）は切らずにそのまま、大きいものは切り分けて風通しのいい場所で2日程度置き、切り口を十分に乾燥させてから植え付けましょう。その際、切り口に「ジャガイモシリカ」を付けると腐敗しにくくなります。

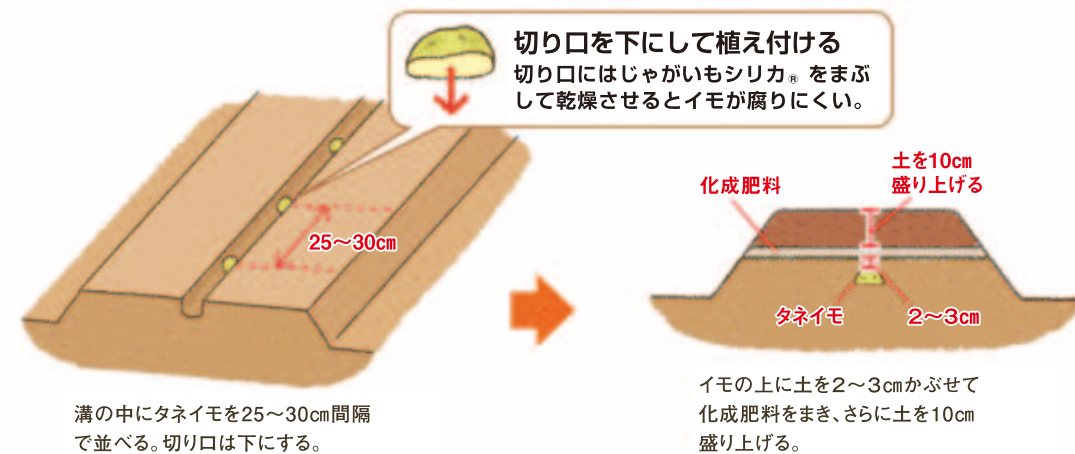
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春作	植え付け			収穫時期								
秋作							植え付け		収穫時期			

② 土づくり・植え付け

ジャガイモの連作は、そうか病や青枯病などが発生しやすくなるので避けて下さい。畑は排水性、保水性がよく、強風の当たりにくい場所を選びます。そうか病の発生を抑えるには石灰の量を少なめに施用します（1㎡当り50gが目安）。

元肥は「野菜名人」を1㎡当り150g施用しましょう。追肥は開花前後に「NK化成」を株の周りに1㎡当り30gまいて中耕し、株元にしっかり土寄せしましょう。

植え付け後に雨が降らない場合は、水やりすると出芽が早まり、収量が多くなります。



③ 芽かき

背丈が10cmぐらいになったら、丈夫なものを2本～4本だけ残し芽かきを行います。

④ 収穫

茎や葉が黄変したら、天気の良い日に収穫し、1週間ほど日陰で乾かします。



えいのう～

初心者向け（家庭菜園）

春取り小カブのトンネル栽培

立春が過ぎ、日差しの強まりを感じ始める頃になると、今年の家庭菜園の仕事を始めます。一番先に種まきできるお薦めの野菜は小カブです。

トンネルで被覆し、保湿すれば4～5月に白肌できめ細かく肌触りの良い、おいしい小カブが楽しめます。

種のまきどきは2月中旬です。寒い地域では気温差を考慮して種まきを遅らせましょう。

種のまき方は、畑に1m幅のベッドを作り、全面に完熟堆肥と菜種油かす、化成肥料を均一になるようにばらまき、15cmほどの深さによく耕し込みます。そしてまき溝をくわ幅よりやや広め（17～18cmぐらい）に3列、溝底が平らになるよう丁寧な作

り、溝の外にはみ出さないよう注意しながら、ジョウロでたっぷり灌水（かんすい）しておきます。発芽そろいまでトンネルは除覆しないので、このことを考えて十分に灌水してください。

種まきはまき溝の中に種間隔が1.5～2cm離して満遍なくまき、その上に1cmぐらいの厚さに覆土します。トンネルの裾には土を掛けて密閉して発芽を促します。種まきしたらすぐ密閉してしまうので、発芽と初期生育に必要な量を十分灌水しましょう。

発芽して本葉2～3枚に育ったら、トンネルの頂部に小穴を開けて換気し、さらに内部が日中30度を超すようになればトンネルの裾も開けて気温の上昇を

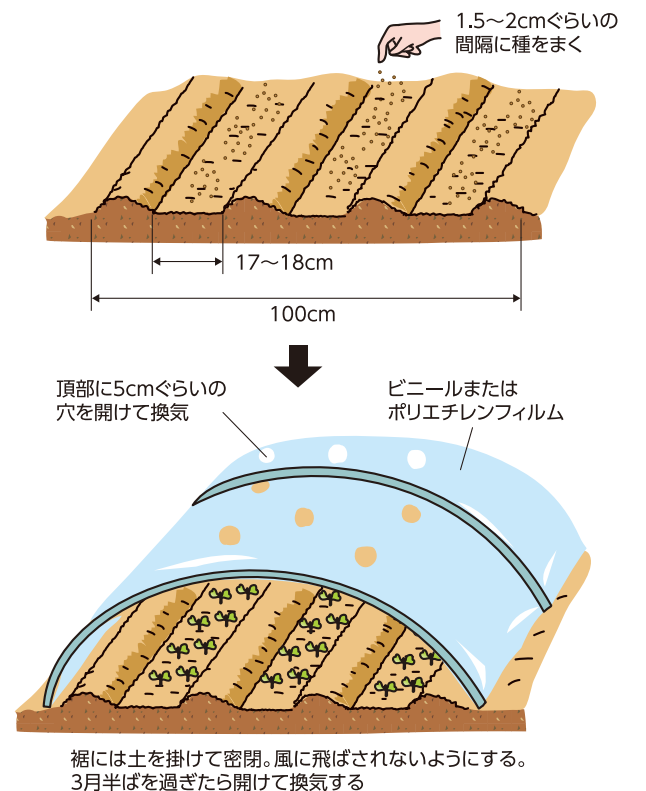
防ぎます。

育つにつれて株間が込み合わないよう間引きをし、灌水を適宜に行つて乾き過ぎないように注意してください。また、生育中は、葉の緑が淡くなりかけた頃に、溝の外側に化成肥料をばらまいて追肥します。

球径が5cm内外に育ったら収穫開始です。途中で間引いた物も上手に利用しましょう。春の小カブは葉も柔らかいです。

で、汁の実や漬物にしてもおいしくいただけます。

トンネル換気、除覆すると、コナガ、アブラムシ、ヨトウムシの幼虫などが害するので、発生状態に注意し、初期に適応殺虫剤を散布して防ぎましょう。小カブはその後また次々に種をまいて栽培できます。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

日向ぼこ互いの過去に触れずして
喪ごころや黒きシヨールに顔うずめ

おおきみ

大君の退位近づくお茶の花

誘はるる家遠すぎて木の実落つ

市川和美

いゝ夫婦の祝日出来て一人なる

肉厚の銭の成る木も紅葉す

今橋孝子

両親の手に二人つつ七五三

時々父母の手を替へ七五三

玉川治美

玄関の戸にはりつける枯蠅かれとうろう

初氷寒さ忘れて手に取りぬ

田中信子

夕時雨天平の宝正倉展

屏風背に詩吟大会特別賞

竹内春猪

母と越す峠の道や秋の月
秋の暮かすかな灯り母の里

西宮正衛

鳩もぐる時に忘れし流さるる
身構へのまま蠅の枯れにけり

散策の友と分け合ふ冬日差し
この庭を寄る辺と決めて石路の花

西森美好

自が葉にカリフラワの包むくせ
檀の実弾けし真紅庭に散り

前田喜久

暖冬や木枯二号行きまどふ
オアシスや小春日和の老二人

松本明子

昏れ初むる厨にせまる夜寒かな
黄落や日がひとしきり谷底へ

渡辺小梅

黒岩 やよえ

文野 美恵子

岡村 香代子

島岡 紀美

市川 隆子

市川 浩子

北村 さちこ

岩井 房子

短歌

窪川短歌教室

ひそひそと蜜を吸ひあるシジミチヨウ風吹けばあさみとともに揺れつつ

夏の夜は光の川に漕ぎ出でてさりさりさらり揺られてみだし

五葉松の手入れしている背に届く初の曾孫が産まれましたと

退院の夫とわが家に降りたてば木屋の香の庭に満ち満ち

ひと朝の旅にありしか刈穂田に鳴きて遊びしナベツルの群れ

タレントの噂話をするやうに吉井勇を語り猪野々を訪へり

ことごとく吾の言うこと否定する八十歳の夫のいじわる

一瞬を鏡のなかに母を見る目元窪みし八十路なる吾に

INFORMATION

お知らせ

~~~~~

## 当選者のお知らせ

旧JA四万十広報誌「あぐりしまんと」11月号のパズル抽選  
当選者発表です。

11月号の答えは「トシワスレ」でした。

|            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| <b>当選者</b> | 中土佐町大野見長野 | PN はるかかなた |
|            | 四万十町黒石    | 渡辺 美智子    |
|            | 四万十町見付    | 藤沢 登美子    |
|            | 四万十町西川角   | PN トミちゃん  |
|            | 四万十町中神ノ川  | 高尾 辰喜     |
|            | (敬称略)     |           |

当選者の方に洗剤セットをプレゼント！  
おめでとございます！

## 【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141